**◎授業の様子**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 授業の様子 | 指導上の留意点（・）支援（○）評価（◇） |
| １　本時の学習課題をつかむ。２　発表の進行を確認する。E:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0380.JPGE:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0379.JPG３　範例をもとに、発表の聞き方について確認する。４　グループ内で順番に下書き発表を行う。E:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0265.JPG５　グループで代表者を選び、全体発表をする。E:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0285.JPGE:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0281.JPGE:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0300.JPG６　発表の振り返りを行う。 | E:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0186.JPGE:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0377.JPGE:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0381.JPGE:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0196.JPG課題②　児童が付箋紙とマトリクスを評価の道具として使いこなせるよう、事前に練習する機会を多く設けたい。Ｔ：絵の工夫はどの位置になるかな？E:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0271.JPGＣ：デザインの矢印側。もう少し上かな。E:\学校関係\校内研究授業\写真\IMG_0209.JPG課題③　評価の理由を自分の言葉で伝えることができるようにしたい。 | ・帯・ポップの「読みたくなる工夫」について、範例を使って確認する。課題①　既習の「読みたくなる工夫」について、範例をもとに再確認し、単元としてのつながりを意識させたい。・活動の見通しが持てるようにする。○発表・評価のポイントや、下書き発表の進行を視覚的にわかりやすく提示する。・範例を使い、児童と一緒に学習活動を確認していく。・付箋を貼る際は、評価の理由を明確にするよう指導する。○活動をスムーズに進行するために、必要な道具はまとめて配る。○司会用のカードを用意しておく。○時間の区切りは、ベルを使って知らせる。○机間指導では、教師も評価することで、観点や工夫を班で共有させる。・友達の帯やポップの工夫を見つけ、自分の言葉で相手に伝える。◇友達の発表を聞き、工夫しているところを見つけようとしている。（国語への関心・意欲・態度）・班の中でワークシートを比較させる。課題④　代表者を児童の話し合いではなく教師が選び、モデルの共有化を教師主導で行うべきだった。・書画カメラを使い、下書きを見せながら発表させる。・友達の評価や「読みたくなる工夫」を参考にして、次時以降は清書を行っていくことを伝える。課題⑤　代表者の発表から、本時の始めに確認した「読みたくなる工夫」がなされていることを理解させたい。 |

**○指導講評　　　　　　　　　　　　　　　　　　指導者　　深谷市立岡部西小学校長　　石川　浩　先生**

・授業者の演出力、きれいな黒板、用意された道具など　→　児童がわくわくするような工夫がされていた。

・ポップについて、帯紙作りに比べ表現の幅が限られる分だけ難しくなる。何を残すのか、何を伝えたいのかを

明確にさせる指導が必要。帯紙とポップのどちらを作らせるかは、個々の児童の能力にあった選択をさせる。

・グループでの代表者の選出方法について。やる気があれば誰でもよい場合、内容が優れている場合など、状況

や教師の意図によって様々である。本時では、教師が意図的に指名し、全体で共有化する方が有効であった。

・付箋紙を活用したことについては、メリットも多くあるが、本時では児童が使いこなせていなかった。

習熟している状態で使うと、より一層の効果が得られた。

・ねらい、目標を明確にし、見通しをもたせることが重要。

・言語活動を充実させるために、単元を貫く大きな流れ、手立てとして言語活動を組織する必要がある。

①指導事項を見極める（何を身につけさせるのか）　②ふさわしい言語活動を考える

③課題を設定する（解決の過程として言語活動があるように留意）④思考や判断を促す発問や指示を考える